（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	ハッピーテラス岐阜長森教室

公表日　令和8年　11月　10日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点・課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		利用定員が10名に対して、十分なスペースが確保されています。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	6		常に児童指導員や保育士、指導員を3名以上配置しており、利用者に目が行き届くようにしています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		教室には段差がなく、子ども達が分かりやすいように部屋も区別するなどして、安心して過ごせる環境を整えています。また、情報伝達の面ではホワイトボードを活用しています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		朝と子ども達が帰った後に必ず清掃を行い、環境整備を心がけています。また、子ども達がどこに何があるか分かりやすいよう、シールなどを用いて分類しています。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		相談室を設け、一人の時間を過ごせる空間や落ち着いてクールダウンできる空間づくりをしています。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		毎月ミーティングを実施し、職員全員で以前立てた目標の振り返り、次回の目標設定を行っています。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		保護者向け評価表をミーティング等で職員全員で共有し、課題を確認しています。また、課題改善に向けて、意見交換を行っています。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎日の朝礼や終礼、ミーティング等で話し合いの時間を設け、支援の共有の場として活用しています。改善点などは、その都度改善できるような体制を取っています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6		ハッピーテラス本部の内部監査を定期的に行っています。結果を職員全員で確認し、業務改善に繋げています。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		社内で定期的に勉強会を実施しています。また、外部の研修にも積極的に参加して、職員の資質向上を図っています。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		個別支援計画と共に保護者に共有し、公表もしています。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		定期的に子ども・保護者と面談を行う時間を設け、双方のニーズを聞き、課題を分析した上で個別支援計画を作成しています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		毎日のミーティングの際に子どもの様子を共有し、職員全員で課題などを話し合っています。その話し合いを基に、児童発達支援管理責任者が放課後等デイサービス計画を作成しています。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	6		情報共有を行った後、個別ファイルに保管し、職員全員がいつでも計画を振り返れるようにしています。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		ハッピーテラスのアセスメントツールを使用して支援に活かしています。職員間で子ども達の様子を日々記録・共有し、多面的な支援に繋げています。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		必要項目が適切に設定されています。具体的な支援内容に関しては、ミーティング等で職員間で話し合いを行っています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		トレーニング教材はハッピーテラス本部にて、専門のプログラム開発担当者が立案しています。それを基に教室の指導員が工夫して実施しています。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		日々の利用者の特性に合わせたプログラムを準備するようにしています。また、ハッピーテラス本部のトレーニング教材を発展させながら支援を行っています。

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		利用者の課題や発達段階に応じて、個別活動と集団活動を組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しています。その計画を基に、支援を実施しています。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		毎日朝礼の時間の中で、職員全員でその日の利用者やトレーニングの内容を共有し、トレーニングに合わせた配置や役割を決めています。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	6		利用者が全員帰宅後、終礼の時間に職員全員でその日の支援内容の振り返りや、子ども達の様子で気付いたことを共有し、よりよい支援に繋げています。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		毎日の記録を作成・共有し、職員全体で日々の支援を振り返り、今後の支援の改善に繋げています。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		半年に一度面談を行い、その都度アセスメントツールを活用して新しい放課後等デイサービス計画を作成しています。その計画をもとに話し合いを行って振り返りをしています。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	6		放課後等デイサービスガイドラインに沿った支援を、職員全員が常に心がけています。また、トレーニング内容についても、「4つの基本活動」を意識して考えています。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		子どもに選択肢を複数与え、自己決定をする力を育める関わりを行っています。自分の意思を伝えられたことを褒め、自己決定力を上げる支援を行っています。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		相談支援事業所からのお問い合わせに応じて、管理者、児発管、スタッフが参加しています。相談支援員さんとの連携を図り、定期的に子どもの様子を情報共有しています。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		エール岐阜さんや子どもが通っている学校の担任の先生方と情報を共有し、連携して支援を行っています。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		学校の担任の先生と電話をする機会や子どもの送迎時にお話をさせて頂く等で情報共有をしています。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6		対象児童は小学校1年生から高校3年生のお子様だが、実際通われているお子様は小学校高学年からのお子様が多いため、同じ法人のハッピーテラス岐阜梅林教室で行っています。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		卒業する利用者がいる際には、移行先の就労支援事業所等との連携を図るよう努めております。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	6		対象児童は小学校1年生から高校3年生のお子様だが、実際通われているお子様は小学校高学年からのお子様が多いため、同じ法人のハッピーテラス岐阜梅林教室で連携を図っています。研修が開催される際には参加できる機会を設けています。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		体育館でのイベントを行う際、地域の方に声をかけ、一緒に体を動かすことを楽しみました。また、他の放デイの方と運動会を企画し、合同でイベントを行いました。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6		機会があれば、積極的に参加しています。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		子ども達の日々の変化を送迎時や連絡帳、定期的に行う面談等で保護者と共有し、発達状況や課題についての共通理解を持っています。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6		定期的に保護者会を開催し、情報提供や保護者様同士の関わりの場を設けています。また、研修等で得た情報を保護者に共有しています。
保	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		必ず契約時にゆっくり丁寧に説明を行い、理解していただいています。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		面談を定期的に行い、子ども本人からのニーズ、保護者からの意向の双方を確認しています。そして、双方の意思を尊重した放課後等デイサービス計画を作成しています。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	6		面談時に必ず計画を示しながら、本人の意向、保護者の意向、目標の優先順位などの説明を行った上で同意と署名を頂いています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		随時相談を受け付けています。電話や面談を通して、時間をかけてまずは傾聴し、必要なときは助言を行っています。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6		保護者会を開催し、保護者様同士の関わりやお話ができる機会を設けており、多くの保護者様にご参加いただいています。また、保護者様やご兄弟様も一緒に参加できる家族イベントや文化祭を企画し、交流を図っています。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		苦情受付担当、苦情解決責任者を設置し、苦情に対して適切に対応するよう努めています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		当月の通信、次月の活動内容の配布・掲載を行い、子どもと保護者様に活動を発信しています。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		個人情報の取り扱いに関する同意書を契約時に保護者様に確認して頂き、記載されている内容以外には使用しないように従業員全員に周知徹底させています。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		口頭説明では情報伝達が難しい場合には、視覚支援を用いる等、適切な意思疎通ができるよう配慮しています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		同法人のマルエイソーシャルサポートでの秋祭りなどを通して、地域住民との関わりを図っています。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		勉強会の時間の中で職員全員がマニュアルの内容を確認し、保護者様には通信や契約時に周知しています。また、随時想定訓練を実施し、実施結果報告書を共有しています。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPは策定しています。また、利用者と職員に対して様々な場面を想定した避難訓練を実施し、行った訓練を通信等で周知しています。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		契約時に服薬やてんかん発作などの欄を保護者様に記入していただいています。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		アレルギーの種類などを保護者に記入していただき、アレルギーのあるお子様に対しては、おやつを持参して頂くなど工夫しています。おやつを提供する際は、スタッフと本人で確認しています。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		安全計画を作成し、職員全体で定期的に研修と訓練を行っています。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	6		契約時に安全確保と安全計画についての説明を丁寧に行うことを心がけています。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6		些細なことでも記録に残して共有し、職員全体で再発防止に向けた方策を検討しています。また、いつでも閲覧できるようになっており、再発防止に努めています。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		虐待防止委員会を設置し、定期的に研修・訓練を実施して職員全員に虐待防止内容を周知徹底しています。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		身体拘束等適正化委員会を設置し、定期的に身体拘束についての研修を行っています。現在は身体拘束が必要となる児童の利用がなく、計画への記載はありません。